

今後とも、市町村のスポーツ人口が増加するものと予想されるので、保険への加入を促進する必要がある。

## 第4項 公共スポーツ施設

### (1) 県営体育・スポーツ施設

体育・スポーツ施設は、昭和50年度と昭和55年度の施設数を比較すると、大きな伸びを示しており、公共施設及び事業所施設の伸びが大きい。しかし、公共施設の全施設に占める割合は、昭和55年度で13.4%であり、

全体としては少ない状況にある(表5-2-14)。

県営施設のうち、体育館の建設については、昭和58年度の白河体育館の完成をもって整備計画は一応完了した(表5-2-15)。

今後は、広く体育・スポーツの振興を図るため、昭和70年第50回国民体育大会本県開催を踏まえながら総合的に検討し、県営体育・スポーツ施設の計画的な整備に努める必要がある。

### (2) 市町村体育・スポーツ施設

日常生活圏域における体育・スポーツ施設について見ると、県スポーツ振興審

議会が、昭和51年3月に建議した「県民の体育・スポーツの普及振興に関する具体策について」の日常生活圏域における体育・スポーツ施設整備基準に基づく具体的整備基準による昭和58年度の充足率は、運動広場が70.3%と最も高く、柔剣道場が34.0%と最も低くなっている(表5-2-16)。また、野外活動施設については、特にキャンプ場、オリエンテーリングコース、スキー場等の整備が進んでいるが、十分とは言えない状況にある(表5-2-17)。

したがって、今後は、地域における体育・スポーツの一層の振興を図るため、地域の実態に即した施設の整備を図るよう指導する必要がある。

表5-2-14 体育・スポーツ施設の設置状況

項目	区分	(単位：施設,%)					計
		公共	学校	事業所	民間(非営利)	民間(営利)	
昭和50年度	施設数	411	3,131	490	38	152	4,222
	構成比	9.7	74.2	11.6	0.9	3.6	100
昭和55年度	施設数	660	3,229	783	87	176	4,935
	構成比	13.4	65.4	15.9	1.8	3.5	100
昭和50年度を100とした昭和55年度の指数		160	103	160	229	116	117

注：「保健体育課調査」(昭55、文部省提出資料)による。

表5-2-15 県営体育・スポーツ施設の設置状況

施設名	所在地	主な施設内容
福島体育館	福島市	バスケットボールコート
郡山体育館	郡山市	バレーボールコート バドミントンコート
会津体育館	会津若松市	テニスコート
原町体育館	原町市	卓球コート ハンドボールコート
白河体育館	白河市	体操
相撲場	福島市	本館、競技土俵、練習土俵
スキーセンター(含リフト)	猪苗代町	管理宿泊棟、リフト375m
荻野漕艇場	高郷村	B級公認コース1,000m、艇庫
土湯スケート場	福島市	管理棟(1棟)1周333m
南会津野外活動センター	田島町	宿泊棟、キャンプ場、オリエンテーリングコース、運動広場

注：「保健体育課調査」(昭58)による。